

文学院必修科目について

文学院院长 藤田健

文学院の必修科目の履修にあたって、下記のことがらに注意して下さい。

- ・「人文社会構造論」「複合環境文化論」「多文化共生論」「総合社会情報論」と「研究倫理・論文指導特殊講義」はいずれも e-ラーニング形式で開講され、授業を録画したビデオを ELMS を通じて、再生して視聴する形で受講してもらいます。
通信の負荷が多少ありますので、受講に際して通信環境には注意して下さい。
 - ・「人文社会構造論」「複合環境文化論」「多文化共生論」「総合社会情報論」は時間割上は水曜 1 限に設定されていますが、同時配信形式ではなく、指定された期間内に、ELMS に接続して授業のビデオを視聴して(分けて視聴することが可能です)、各教員から課された課題を提出してもらうという形で履修することになります。
 - ・研究倫理・論文指導特殊講義は時間割上は春タームは月曜 5 限、夏タームは火曜日 5 限に指定されていますが、実際にこの時間帯に授業が実施されるわけではありません(同時配信形式ではありません)。この授業も上記の講義と同様に、それぞれの授業に登録した学生は、指定された期間内に自分にとって都合のよい時間帯に ELMS に接続して授業のビデオを視聴して、各教員から課された課題を提出してもらうという形で履修することになります。
 - ・研究倫理・論文指導特殊講義は春タームと夏タームの両方で開講されます。どちらを受講してもよいのですが、自分の専門分野に近い先生が担当者の中にいる授業に登録して下さい。
- [春ターム]藏田(哲学倫理学)、宮嶋(宗教学)、松畠(西洋史学)、笹岡(地域科学(環境社会学))
[夏ターム]和田(心理学)、池田[証](言語科学)、竹内[康](欧米文学)、高瀬(考古学)